

事業所あれこれ

## 子供たちと「いのちと看護師の仕事」学びあう

アカシア訪問看護ステーション 川上貴子

2009年に新渡戸稲造の新渡戸文化小学校のアフタースクールによばれて、『看護師の仕事やいのちについて』お話ししました。

そこから、NPO 法人アフタースクールと住友生命がコラボ企画している「スミセイアフタースクール」からの依頼で、全国の学童保育にお話に行っています。北海道から九州まで、実に多くの小学校へ行きました。直近は鳥取と栃木、長野です。

子供たちは熱心に、看護師の仕事、訪問看護の仕事、包帯の巻き方など楽しく過ごしてくれているようです。将来看護師になる人が増えてくれますように！



ご協力いただきました、川上貴子先生、安宅児童クラブのスタッフの皆様、子供たち、本当にありがとうございました！



**看護師の仕事、  
応急処置学ぶ**  
北小児童  
命について学ぶ教室が18日、大泉町北児童館で開かれた。大泉北小の児童約40人が看護師の仕事や応急処置の方法に理解を深めた。  
看護師の川上貴子さんが講師を務め、体や病気の仕組みを説明しながら看護師の業務を紹介した。子どもたちは友達同士で包帯を巻き合い、応急処置の方法を確認し写真。川上さんは「転がすようにして優しく巻いて」とコツを伝えた。

2024/3/18  
住友生命保険(大阪市)が助成するNPO法人、放課後NPOアフタースクールの「スミセイアフタースクールプロジェクト」の一環で開催した。  
(林花野)

群馬県大泉町での「スミセイアフタースクール」の様子が記事になりました

# 能登半島地震復興支援 ボランティア パート3

GH アカシアの家ファンハウス 渡辺ユキ

期間:3/13~16 実働 3/13 午後~、3/14・15 8:30~17:30  
支援地:石川県羽咋市「たきの一ほむ風和里(ふわり)」



支援内容:入浴介助がメイン。定時での環境整備(共有空間の掃除)、食事介助、排泄介助、コミュニケーション。

小規模多機能型居宅介護の事業所でしたが、輪島からの施設避難者をショートステイとして受け入れている現状でした。

既存の利用者は大多数が訪問に切り替え入浴支援として短時間の通いを行っており、入浴介助の支援を依頼されました。事業所からも入浴支援が大変であるとお話もありました。人工肛門設置の方や尿道カテーテルを使用されている方もおり、2人対応での入浴介助が必要であるため大変とのことでした。

訪問で配食を行っており毎食30食手作りしていました。食事作りのスタッフが一日作り続けることもあり、手が回らない時間が出来てしまうようでした。

他にも大阪からのボランティアの方が支援に来ていました。これまでも何名かボランティアの方が来ているようでした。

正直、何も分からない中で向かった能登支援。不安しかなかったが、「ふわり」の職員の方は明るく気さくに接して下さいました。

羽咋市も塀が崩れていたり、道路がボコボコに割れていたり、地震の影響が出ているところが間近で見られました。

利用者さんもほんわかした雰囲気です。「埼玉から!? そんな遠くから!」と驚きながらも受け入れてくれたように思います。お話をしていると郷土愛をとっても感じました。方言やイントネーションの違いで怒らせてしまい支援を断られてしまった方もいました。

時々何をしたいのか分からない時間帯もありましたが最終日には「次はいつ来てくれる? 帰っちゃうの? また来てね」と声をかけてもらえたことで、役に立てていないんじゃないかという不安が少し和らぎました。

今回の支援は自身のコミュニケーション力のなさをより一層痛感しています。介護支援としてすぐに対応ができるので人工肛門など医療的な知識などを持っている必要はあるかと思います。求められている支援も様々だと思いますが、人柄や土地柄・文化が違う方との初見での支援を行っていく上では、コミュニケーション力が必要だと思いました。普段も新規の方との関りがあるので今回の支援だけでなく必要な事柄だと感じます。

とっても いい話



<電車に乗った直後 あっ! ベンチに置き忘れた 結末はいかに>

病院帰りに電車を待ちつつ駅のベンチでメールをしていました。やがて来た電車に慌てて乗り込み発車した途端、「あっ!」さっき迄肩に掛けていたはずのショルダーバックを座っていたベンチに置いて来たことに気づきました。

次の駅で降りて戻ろうにも反対方向の電車はすぐには来ません。駅改札に行き事情を話したところ「どんなバック？色は何色ですか？」等々聞かれた結果、何と！私が数分前に置き忘れたバックは、もう乗車駅事務所に届けられているとわかりました。

中に入っていた現金、スイカ、カード、保険証その他全ての貴重品が無事に私の手元に戻ってきました。考えるだけでもぞっとします。

正直な人の多い平和な日本！なんと有難いこと！

このおっちょこちょいのおばあさんが、もし他の国に住んでいたら……。

さて教訓です。「移動する時は、必ず今までの場所を振り返って、忘れ物がないか確認する」。これは若い頃からずっと心がけていたはずなのに……。

つくづく年齢を感じた出来事でした。

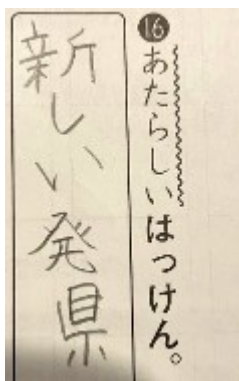
<塩澤 美智子>



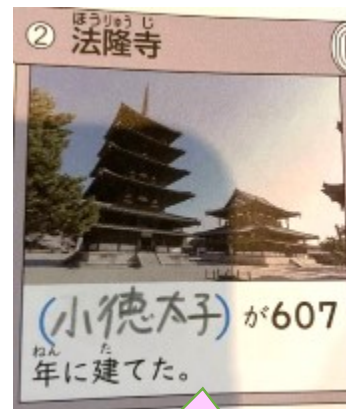
チャリティーコンサートにて



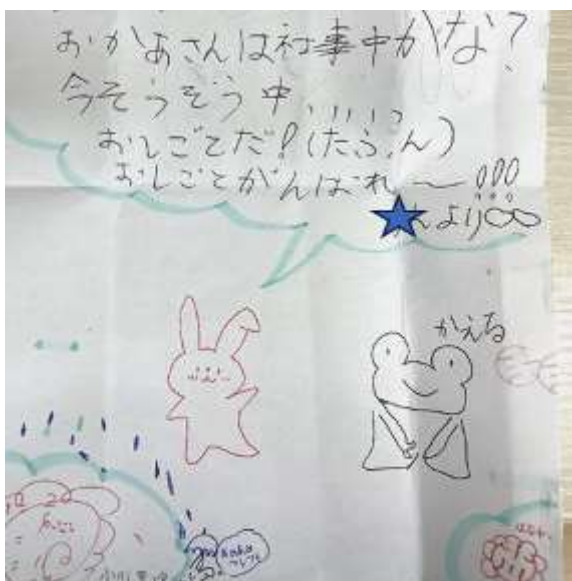
## ちょっとほっこりこどものおもしろ間違い集



新しい「県」をみつけたのかもしれませんが、コロンブスみたい……



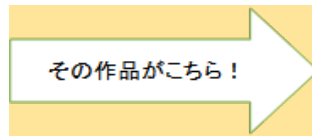
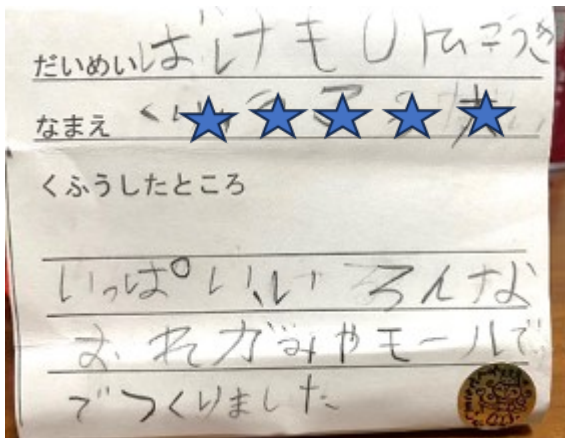
聖徳太子が小さくなっちゃいましたね



愛する母への手紙です。社事中？母は社事中ですよ(^^)



おいしい 🍵



おれがみ……「おれ」が作ったという主張ですね(^;)

<  time ~私の楽しみ~ >

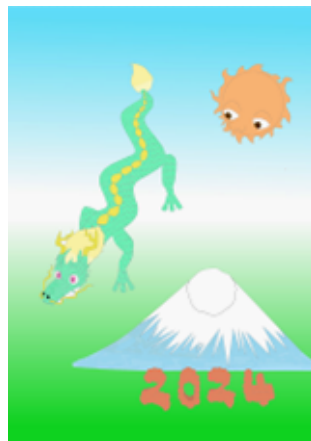
## しよ~ちゃんの日常

今回は、相談支援センターパティオが相談・支援を担っている桜井翔太郎さんに登場してもらいました。翔太郎さんは28歳の青年です。筋ジストロフィーのため筋力が低下し全介助の状態です。一人暮らしを選択し、往診、訪問看護・リハビリ・入浴、福祉用具、24時間訪問介護等の支援を受けながら“自立”した生活を送っています。常に前向きに生きる姿勢は、私たち自身が学ばされエネルギーを頂いています。わずかに動く手指を使ってパソコンを操作して様々なアートを創作しています。翔太郎さんは「イラストは主にパソコンで描いています。日タイラストを描いて、技術を磨いています。絵を見てもらえる機会をいただけて嬉しいです」と。

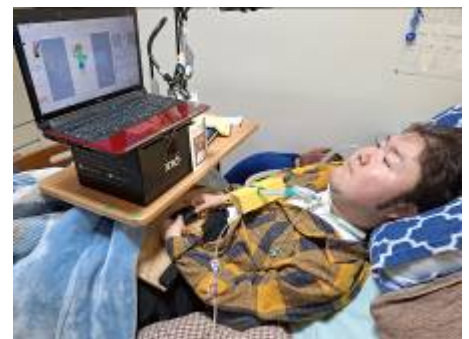
\* YouTube で自身を発信しています。タイトルは「しよ~ちゃんの日常」です。のぞいてみてください。



両親は理容師です。  
いつも、ありがとうね!!



今年の干支 残り数日



ただ今、創作中。どんな絵かな？



僕は、食べる事が大好きです。胃ろうですが……  
← 頭の中は、寿司でいっぱいです。  
海苔巻きには、玉子、イクラ、マグロなど →



**【編集あれや これや】**  
毎年ですが、一年が過ぎるのは本当に早い。今年は、元旦から能登半島を中心に襲った大地震で最悪のスタートでした。アカシア会からも数名が支援に入り、報告を連載しています。  
通信の、最後のトリで、桜井翔太郎さんの私たちには想像できない辛さの中でも、前向きな姿を発信する事が出来ました。本当に嬉しいです。  
(Na)